

製品名: カベオリン-3 (1901) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08023**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.25mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:500-1:2000,IP 1:10-1:100
分子量	17kDa

抗原情報

遺伝子名	CAV3
別名	CAV3; M-caveolin; Caveolin 3; VIP21;
遺伝子 ID	859.0
SwissProt ID	P56539
免疫原	ヒトカベオリン3の合成ペプチド

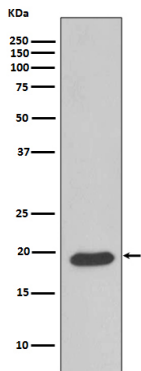
背景

カベオリン3は、カベオラ膜内で足場タンパク質として機能する可能性がある。Gタンパク質 α サブユニットと直接相互作用し、その機能を制御できる。骨格筋と心筋細胞の両方において、機械的ストレスによって破壊された膜を速やかに再封する筋鞘修復機構において役割を果たす。カベオラ膜内で足場タンパク質として機能する可能性がある。Gタンパク質 α サブユニットと直接相互作用し、その機能を制御できる。また、電位依存性カリウムチャンネルも制御する可能性がある。骨格筋と心筋細胞の両方において、機械的ストレスによって破壊された膜を速やかに再封する筋鞘修復機構において役割を果たす（類似性による）。CAVIN2およびCAVIN3タンパク質のカベオラへのリクルートを媒介する（PubMed:19262564）。

研究分野

シグナル伝達、代謝、細胞膜、チャンネル、タンパク質輸送、ゴルジ体タンパク質、ビタミン/ミネラル、心血管、心臓、心臓代謝、肥大、発生生物学、器官形成、骨格発達、筋肉、神経科学

画像データ



ヒト胎児心臓溶解物中のカベオリン3発現のウェスタンブロット分析。